

第14日 令和8年3月16日 月曜日

議事日程

第1 一般質問（通告順による）

【1】4番 宇田卓志議員

- 1 県立安芸高校の「総合的な探究の時間及び課題研究成果発表会」について（令和8年1月29日発表会）
 - （1）安芸高校生徒の研究発表会の内容とその努力に対する評価について
新しい課題に対し、研究を深めて考察するという研究や努力の在り方は、教育の在り方として高い評価を受けるべきで、安芸市からその努力に対し「市長表彰」等行い奨励すべきと思うが市長及び教育長の見解を伺う
- 2 安芸市の小、中、高、生徒の自殺の傾向（増減、原因等）把握しているか
 - （1）日本人の死因について、10歳から30歳代の死因の第1位は「自殺」であり、増加の傾向がある。対処しているか伺う
- 3 安芸市環境課の業務委託事業における市外業者との契約について
 - （1）安芸市ごみ収集運搬並びに安芸市最終処分場運営業務委託について
委託業者住所、社名。委託金額。委託期間。その他
 - （2）杜の聖苑（安芸市火葬場）火葬等業務委託について
委託業者住所、社名。委託金額。委託期間。その他
 - （3）安芸市清浄苑運転管理業務委託について
委託業者住所、社名。委託金額。委託期間。その他
下水道の整備等に伴う一般廃棄物処理業等の合理化に関する特別措置法について
 - （4）令和7年度安芸市一般廃棄物最終処分場浸出水処理施設運転及び保守点検管理業務について
委託業者住所、社名。委託金額。委託期間。その他

【2】8番 徳久研二議員

- 1 安芸市のまちづくりについて
 - （1）公共施設（複合施設）の必要性和立地場所の適正化について
（市民会館、図書館を複合施設として建て替えの考えは理解できるが、場所については適地と言えるのか）
 - （2）ビジネスホテルの建設と運営をPFIで実施することは可能か
（旧市役所跡地は商業地としても一等地であり、ホテルが建設できればその経済効果は大きい。ホテルをPFIで実施できないか）
 - （3）女性の家を存続し活用を図るべきではないか

（体育館周辺の利活用方法、女性の家の利用価値はあるはず）

- （4）図書館・舞台ホール・貸会議室等の複合施設、ビジネスホテル、ゆず搾汁工場、ハイウェイオアシス（道の駅）等の適地について
（それぞれの施設に最適な場所の考え方）

2 野菜集出荷場の統合問題について

- （1）現在の統合計画に至る経過について
（現在の話に至るまでの経過）
- （2）統合計画の内容について
（統合の範囲、立地場所、事業費、財源内訳、生産者の負担割合等）
- （3）JAの提案内容と生産者の意見や考え方について
（JAはどういった提案をしているのか、生産者の意見はどうか）
- （4）統合が不調になった場合の今後の運営見通しについて
（集荷場の機器の更新などへの対応はどうなるのか）

【3】10番 川島憲彦議員

1 小学校統廃合について

- （1）地域説明会でどんな意見が出たのか。またその意見への行政の考えを伺う
- ① 統合で不登校が増える可能性があるとの意見も出ているが認識を伺う
- ② 統合でさらに人口は減るという不安を抱く市民がいるが行政の考えを伺う
- ③ 学校がなくなれば地域は冷え込む声が圧倒的で地域に学校は残すべきだとの意見があるが行政の認識と考えを伺う
- ④ 統廃合は行政の都合ばかりで子供への思いが感じられないという意見があるが、どのように判断するのか伺う
- （2）現在の教育での問題は不登校・いじめ・自殺などの多発と考えるが、学校の統廃合でこれらが解決できるのか行政の考えを伺う
- （3）教員の成り手不足がある。仕事が多く自宅への仕事持ち帰りなども要因だ。学校の統廃合でそれらの悪化がさらに深刻にならないのか認識を伺う
- （4）教育基本法第1条に基づき、学校教育の基本は人格の完成・心身ともに健康な国民を育成することであり、基礎的な知識・判断力・表現力・豊かな情操や社会性を養う「生きる力の育成」が重視されている。義務教育の平等性だ。だからどこの地域にも学校があり、統廃合が運営の軸ではなく、行政の都合を優先すべきではないと思うが、どんな認識されているのか伺う

2 安芸市の公衆浴場の存続について

- （1）元気風呂の再開を強く望む声がある。公衆浴場は日本の文化施設であり健康とコミュニティーの場である。全国の自治体も銭湯の発展に頑張っている。福祉の向上の視点から

も元気風呂を存続すべきと考える。安芸市の考えを伺う

3 旧庁舎の跡地活用について

- (1) 旧庁舎跡地活用を市民ホール・図書館・女性の家に移転させ民間企業に建築・運営を任す準備が進められている。その内容を問うとともに安芸市の一等地を市民の活力と文化向上へ市営としての運営を求める立場で人口減少を止めるために今後の対応を伺う

【4】7番 小松 進議員

1 安芸市どうなっていますか

(1) 安芸市のヘリポートについて

- ① 令和7年救急搬送の現況について
- ② 過去5年間のドクターヘリ搬送の現況について
- ③ 現ヘリポートの現状について
- ④ 新ヘリポートの計画について
- ⑤ 県立安芸病院のヘリポート活用について
- ⑥ 安芸消防署へのヘリポート設置について
- ⑦ 高知県消防広域化基本計画について

(2) 安芸市体育館について

- ① 建設年月日について
- ② 現在の利用状況について
- ③ 利用者のクレームについて
- ④ 備品の更新について
- ⑤ 体育館エアコン設備（冷房）について
- ⑥ 今後の計画について

【5】2番 徳広洋子議員

1 本市の英語教育の充実について

- (1) 中学校英語教育の現状、ALT配置の効果、英語力習熟度を伺う
- (2) 小学校段階からの英語教育において、成果と課題を伺う
- (3) 生徒が等しく英語力を育める環境づくりにオンライン英会話の導入について伺う

2 精神障害者医療費助成制度について

- (1) 2027年から実施される制度について伺う
- (2) 本市でできる支援を伺う

3 市役所窓口対応の情報共有体制について

- (1) 市民相談、要望について記録方法は、統一されているか伺う
- (2) 担当者不在の引継ぎや代理対応の体制を伺う

（3）住民対応の充実にに向けた改善点を伺う

4 高次脳機能障害者支援法について

（1）支援法の内容と周知について伺う

（2）本市の現状について伺う

（3）学校現場の対応を伺う

（4）相談体制について伺う

【6】6番 藤田伸也議員

1 安芸市内新規事業者出店への支援策について

（1）本市において、新規創業者・新規出店者に対する資金補助制度や設備投資に対する補助制度はあるのか。制度がある場合、その内容（補助率・上限額・対象要件）と過去の利用実績を伺う。制度がない、または限定的である場合、今後創業支援策を強化する考えはあるか伺う

2 旧市役所跡地計画と「にぎわいの持続性」について

（1）本計画において、「にぎわいの創出」をどのように定義しているのか

（2）単なる施設集約にとどまらず、来訪者を継続的に呼び込む具体的な仕組み（民間活力導入、定期イベント、テナント誘致等）は検討されているのか伺う

（3）開業当初の一時的な集客に終わらせないための中長期的な運営戦略はあるのか

（4）「経費削減」と「にぎわい創出」の両立をどのように図るのか、市長の見解を伺う

3 「未来創造・人材育成アドバイザー」招致について民間事業者との関わりについて

（1）本アドバイザーの具体的な役割と活動範囲は何か

（2）民間事業者との連携は想定されているのか。想定している場合、その関わり方はどのような形になるのか

（3）アドバイザーの知見を地域企業や創業希望者に還元する仕組みはあるのか

（4）本施策により、地域経済や人材循環にどのような具体的成果を見込んでいるのか

（5）成果の検証方法や数値目標は設定しているのか

4 行政の今後行う宿泊・飲食分野における市場調査と民間連携について

（1）本市場調査の目的と具体的な調査内容は何か

（2）調査対象はどの範囲を想定しているのか（観光客、事業者、市民等）

（3）調査実施に当たり、既存の民間事業者との情報共有や意見聴取はどのように行うのか

（4）調査結果はどのように公開し、民間事業者や新規参入希望者に活用してもらう考えか

（5）調査後、具体的な支援策や誘致施策へどのようにつなげていくのか

5 元気風呂の必要性和今後の方針について

（1）財政負担の軽減は重要である。しかし一方で、市民サービスの質や本市の魅力をどう維持・向上させるのか市民サービス向上及び交流人口拡大の観点から、市としてどのような

な判断を行う考えか

6 小学校統合について

- (1) 今回の統合の主目的は何か。経費削減との位置付けはどのように整理しているのか
- (2) 統合により、教育の質は具体的にどのように向上すると考えているのか
- (3) 少人数校の良さをどのように新しい学校に引き継ぐのか
- (4) 統合後の「新たな教育現場」とはどのような姿を描いているのか。また、子供たちの将来にとって、この統合がどのような価値を生むと考えているのか

【7】5番 小松進也議員

1 市長の市政方針について

- (1) 人口減少社会を豊かに生きるについて問う
 - ① 人材育成の考えとその姿を問う
 - ② 将来ビジョンと今後の進め方を問う
- (2) 「女性が輝く町、子どもが戻る町」について問う
 - ① 新教育長が目指す安芸市の教育ビジョンを問う
 - ② 安芸市の子育てや教育での課題を問う
 - ③ 幼児期児童期の子育て教育について考えと目指す子供の姿を問う
 - ④ 新保育所（認定こども園）での子育て支援や教育支援を問う
 - ⑤ 統合小学校の子育て支援や教育支援を問う
 - ⑥ 不登校への考えと不登校についての方向性について問う
 - ⑦ コワーキングスペースの整備事業の内容と規模を問う
 - ⑧ 地域共創プラットフォームの内容と将来像を問う
- (3) 一次産業の収益力強化について問う
 - ① 日本一のゆず産地の今後と課題について問う
 - ② 上記の課題解決に向けた中長期的戦略を問う
 - ③ 林業振興への今後と課題について問う
 - ④ 上記の課題解決に向けた中長期的戦略を問う
 - ⑤ 漁業振興への今後と課題について問う
 - ⑥ 近年の漁獲高と漁業を取り巻く環境や漁業の継承についての所見
 - ⑦ 漁業者の所得向上支援についての考えを問う
 - ⑧ どのような支援が効果的なのか
 - ⑨ 漁獲調査や人工漁礁や沿岸の海域調査などの考えはあるのか
 - ⑩ 放置廃船問題への考えを問う
 - ⑪ 放置廃船処理支援事業の考えを問う

議員出欠状況

議員定数 14 人

出席議員 14 人

1 番	長 野 弘 昌 議員	2 番	徳 広 洋 子 議員
3 番	佐 藤 倫 与 議員	4 番	宇 田 卓 志 議員
5 番	小 松 進 也 議員	6 番	藤 田 伸 也 議員
7 番	小 松 進 議員	8 番	徳 久 研 二 議員
9 番	山 下 裕 議員	10 番	川 島 憲 彦 議員
11 番	山 下 正 浩 議員	12 番	小 松 文 人 議員
13 番	尾 原 進 一 議員	14 番	千光士 伊勢男 議員

説明のため出席した者

市 長	西 内 直 彦	副 市 長	植 野 浩 二
教 育 長	清 水 明 宏	総 務 課 長	大 坪 純
企 画 調 整 課 長	大 野 崇	財 産 管 理 課 長	千光士 学
税務課長兼市民税係長	北 村 朋 美	市 民 保 険 課 長	福 島 由 美
健 康 介 護 課 長	国 藤 美紀子	環 境 課 長	島 崎 雅 行
福 祉 事 務 所 長	長 野 信 之	農 林 課 長 兼 農 業 委 員 会 事 務 局 長	三 宮 一 仁
商工観光水産課長	中 川 亮	建 設 課 長 兼 自 動 車 道 推 進 室 長	近 藤 雅 彦
上 下 水 道 課 長	仲 田 裕 介	危 機 管 理 課 長	名 木 栄 作
教育次長兼学校教育課長	大 坪 浩 久	生涯学習課長兼少年育成センター所長兼女性の家庭長兼図書館長	藤 田 隆 史
消 防 長	久 川 陽	消防本部次長兼消防課長兼消防署長	公 文 敬 三

職務のため議場に参加した事務局職員

事 務 局 長	小 松 俊 江	議 事 調 査 係 長	中 西 宏 文
主 幹	野 町 あゆみ		

本日の会議に付した事件

日程第1 一般質問